

■取得できる資格(14種類)

講習・資格名称	座学日数	実習日数	合計日数
①普通救命講習		0.5	0.5
②刈払機取扱作業安全衛生教育	0.5	0.5	1.0
③チェーンソーを用いる伐木の業務特別教育	1.5	1.5	3.0
④走行集材機械の運転の業務に係る特別教育	1.0	1.0	2.0
⑤簡易架線集材装置等の運転の業務に係る特別教育	1.0	1.0	2.0
⑥伐木機械の運転の業務に係る特別教育	1.0	1.0	2.0
⑦機械集材装置の運転の業務に係る特別教育	1.0	1.0	2.0
⑧荷役運搬機械等によるはい作業従事者に対する安全教育	1.0		1.0
⑨小型移動式クレーン運転技能講習	2.0	1.0	3.0
⑩玉掛技能講習	2.0	1.0	3.0
⑪車両系建設機械運転技能講習(整地・運搬・積込み用及び掘削用)	2.0	3.0	5.0
⑫不整地運搬車運転技能講習	1.0	1.0	2.0
⑬狩猟免許(わな)	1.0	1.0	2.0
⑭林業技能検定(3級)	0.5	1.0	1.5
小計	15.5	14.5	30.0

■資格を含むカリキュラムの合計

座学日数 50.0 実習日数 150.0 合計日数 200.0

※授業は毎週月曜日から金曜日までの午前9時から午後4時までを基本とします。ただし、授業内容によっては集合や終了の時間が異なる場合もあります。

■熊本県の森林・林業の現状



■全国有数の林業県 (令和5年)

県土の
約60%を
占める森林

木材産出額
全国4位

ヒノキ産出額
全国1位

阿蘇の火山活動でつくられた肥沃な土壌と、比較的緩やかな地形が広がるエリア。「小国杉」「あや杉」などを生産。

林業担い手の確保・育成のため 「くまもと林業大学校」を開校

林業の現場では将来の担い手を確保・育成することが強く求められています。

そこで熊本県では、林業担い手の確保・育成のため、平成31年4月に「くまもと林業大学校」を開校。新規就業希望者を対象とした長期課程では、林業に必要な技術と現場力を兼ね備えた即戦力となる人材を育成しています。

九州のほぼ中央に位置し、九州脊梁から熊本市街地をとおる有明海に至るエリア。山間部では農林業が主産業。「シャカインズギ」などを生産。

有明海や八代海に囲まれた島しょエリア。樹齢の若い森林や、ヒノキ・広葉樹が多い。

県内で最も林業が盛んで木材生産量が多いエリア。比較的急峻な地形が多く、現在も架線集材技術が残る。国内有数の木材輸出港である八代港もある。

校舎



県北校・座学拠点

熊本県林業研究・研修センター
熊本県熊本市中央区黒髪8丁目222-2



県南校・座学拠点

熊本県球磨郡五木村甲2672-40



森の未来を育てるしごと

くまもと 林業大学校

令和8年度[2026年度] 学校案内

長期課程

くまもと林業大学校【長期課程】のカリキュラムは、未経験者でも卒業後は即戦力となる充実の内容です。林業を志す仲間たちとともに、林業大学校で学び、健全な森を次世代へ引き継ぎましょう。



山から育む人材募集！

くまもとの未来を



熊本県農林水産部森林局林業振興課

〒862-8570 熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18-1

TEL 096-333-2444 FAX 096-381-8710

www.kumamoto-forestry.ac.jp

長期課程について

■期間

令和8年(2026年)4月中旬から令和9年(2027年)3月中旬までのうち、200日間

■選考試験日程

選考種別		募集人数	願書受付期間	選考日	試験場所	合格発表
推薦選考		10名程度	令和7年(2025年) 8/25(月)～9/8(月)	令和7年(2025年) 9/28(日)	熊本県 林業研究・研修 センター (熊本県熊本市中央区 黒髪8丁目222-2)	令和7年(2025年) 10/3(金)
一般選考	前期	14名程度	令和7年(2025年) 10/15(水)～10/28(火)	令和7年(2025年) 11/16(日)		令和7年(2025年) 11/21(金)
	後期		一般選考(前期)終了後に定員を満たしていない場合に実施します。 なお、実施する場合は、令和7年(2025年)12月上旬までに熊本県ホームページに公表することとし、 選考日は令和8年(2026年)2月上旬の予定とします。			

※学校教育法に定める教育機関ではありませんので、他の大学への2年次編入はできません。

■受験資格

くまもと林業大学の長期課程修了後、熊本県内の森林組合や林業会社等の林業分野(※事務職員ではない)への就業を志す、心身ともに健康である者で次の全てに該当する者

- ①【推薦選考の場合】高等学校を令和6年度(2024年度)に卒業した者、又は令和7年度(2025年度)に卒業見込みの者で、出身(または在学する)高等学校長の推薦がある者
- 【一般選考の場合】令和8年(2026年)4月1日現在で、18歳以上50歳以下の者
- ② 森林組合や林業会社等で林業に従事した経験のない者
(林業従事経験が1年未満及び事務職は可。なお、令和8年(2026年)4月1日現在で常用雇用契約を締結していないこと)
- ③ 普通自動車運転免許を有するか、又は長期課程開始までに取得し、県内の林業現場や指定する集合場所へ自力で通える者
- ④ 原則として全てのカリキュラムを受講できる者

■費用について

選考試験費用 **無料** 入学金・授業料等 **無料**

※本課程の運営費用は、森林環境譲与税を活用しているため、選考試験費用、入学金・授業料等は無料です。

■支給について

- 作業服や防護服(チェーンソー使用作業時)、防振手袋、ヘルメットなどを1回支給します。
- 研修実施に係る機材等は当方で準備します。
- 研修実施に係る傷害保険料は当方で負担します。
- 研修地までの交通費、昼食等は自己負担とします。

※就業準備給付金制度:希望者には、長期課程期間中に年額141万9千円(令和7年2月時点)を支給する制度があります(別途支給要件あり)。
ただし、令和8年度(2026年度)予算が議会承認されていることが前提です。

■卒業生の主な就業先

○県内の森林組合や林業会社等

※県内の林業事業体情報を提供するとともに、ガイダンスを行います。(希望する就業環境に合う会社等とのマッチングを行います)
※インターンシップによる職場体験や個別面談など生徒一人一人に合わせた就業を支援します。

■1年間のイメージ

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
●入校式				●お盆休み				●年末年始休み				●卒業式
就業相談												
座学	基礎 → 各分野発展											
実習	基礎 → 応用・インターンシップ											
資格取得	チェーンソー・刈払機など											

■カリキュラム内容 (参考:令和7年度)

テーマ	教 科	座学日数	実習日数	合計日数
林業基礎	林業入門、森林・林業政策、樹木の種類と利用他	4.0	3.0	7.0
林業経営	森林管理(基礎・経営計画・施業地情報)、 立木評価、施業プラン(施業提案・コスト分析)、造林補助金制度	3.0	1.5	4.5
調査測量	森林調査 (測樹基礎・測量基礎、3Dレーザー、GPS、航空レーザー、ドローン他)	2.5	3.5	6.0
安全衛生	林業労働安全(基礎)、救急救命(初動処置)、リスクアセスメント、 現場での安全対策他	2.0	1.0	3.0
造林・育林	造林・育林、種苗・苗畑管理、下刈り・除伐他	4.5	16.5	21.0
素材生産	チェーンソー操作法、高性能林業機械、特殊伐採研修、 伐木技術向上研修他	6.5	56.5	63.0
路網	作業道の開設、車両系建設機械運転実習他	1.0	6.0	7.0
木材利用	木材の流通・加工・販売、製材施設等の現地研修、木工他	1.5	4.0	5.5
特用林産	椎茸栽培、筍栽培、炭焼き	1.5	4.0	5.5
森林保護	森林病虫獣害、地域の獣害防止活動	1.0	2.5	3.5
就業体験	インターンシップ		20.0	20.0
能力開発	コミュニケーション能力開発、先進地視察研修、 地域課題解決、デジタル人材育成他	3.5	8.5	12.0
山村魅力	山の魅力体験、移住・定住、田舎暮らし体験	0.5	3.5	4.0
総合講義	[長期課程]受講における心得、成果報告会、就業相談他	3.0	5.0	8.0
小 計		34.5	135.5	170.0

※カリキュラム内容については変更になる場合があります。